

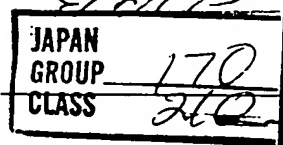
BWA

JP

210/415
72 C 343-21

特 許 庁

特 許 公 報

特 許 出 願 公 告
昭 44-6495
公 告 昭 44. 3.20
(全 3 頁)

不浄液濾過器

特 願 昭 40-69002
出 願 日 昭 40.11.10
発 明 者 出 願 人 に 同 じ
出 願 人 吉 池 極
東京都大田区久ヶ原町 568
代 理 人 弁 理 士 千 葉 清

図面の簡単な説明

図面は、本発明に係る不浄液濾過器の実施例を示すものである。第1図は、縦断側面図、第2図は、横断平面図、第3図は、吸引装置の一部欠截透視図、第4図は、同じく吸引装置の横断面図にして調節板の作動を示すもの、第5図は、調節板を両側に対称的に装置した場合の横断面図である。

発明の詳細な説明

本発明は、汚染不浄水を濾過筒内に圧入濾過するに当り濾過筒内面に付着する混入汚染物を間歇的に作動する排出バルブの開閉によつて吸引排除すべくした吸引筒内に濾過筒内面に近接して開口する吸引口を汚染物の粗密により調節する調節板を作動せしめる外端にハンドルを取付けた回転軸を縦挿しこの回転をカムまたはエキセンクランクにより連動操作して調整すべくしもつて濾過筒の濾過面に付着する汚染物を容易完全に吸引排除せしめて濾過効率を良好ならしめたものである。

実施例図に示す通り、上部に回転カム等によつて開閉するバルブ2を有する排除口1を有する、連通室3を設けた本体4内に内周面に適當の間隙を存せしめて濾過筒5を嵌装し上部に該濾過筒5内に連通する注入口6を取付けて汚染不浄液を圧入せしめ、濾過筒5で濾過した清水を本体4の外側に設けた注出口7から注出濾過するものである。

しかして濾過筒5内の中心に上部連通室3を縦貫する吸引筒8を連動回転装置により回転すべく設け、その一侧に連通せしめて吸引口金9を取付け吸引口金9の一侧または両側に調節板10をス

ライド自在に装着し、上端にハンドル15を有する回転軸11を吸引筒8内に縦挿しその下端にエキセンまたはカムによつて連結した連動クランク12を関着し、その先端に連結軸13で連結した連結杆14端を前記調節板10に関着しハンドル15の回転によりエキセンまたはカムを介して連結した連動クランク12の進退動作を伝動し調節板10を摺動進退せしめて吸引口金9の口部濾過筒5の内面との間隙を調節し、汚染物の粗密によつて調整すべくしたものである。

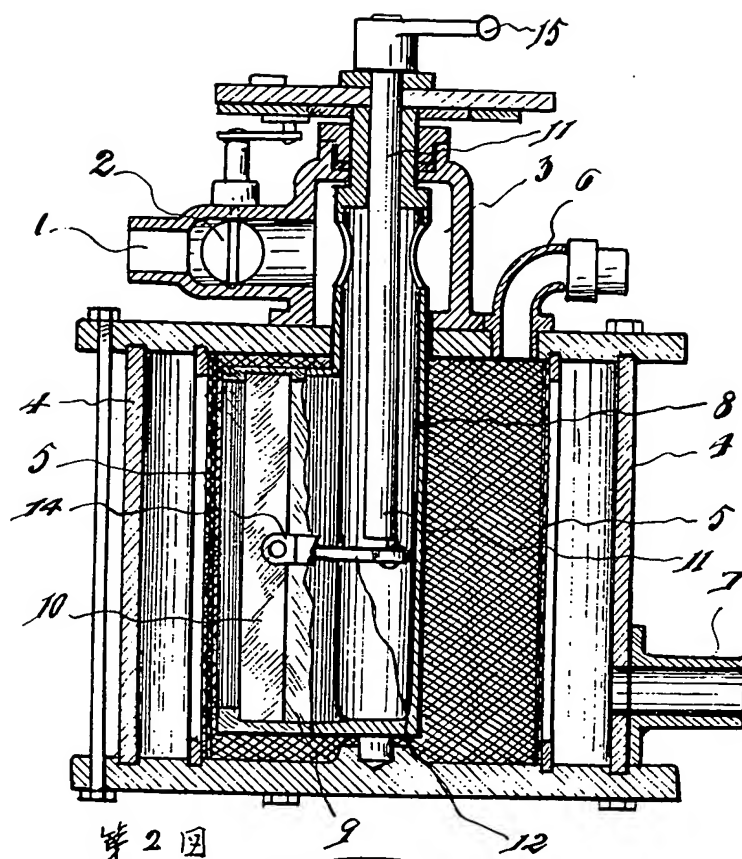
汚染不浄液中に混入する汚染物は大小粗密極めて不均一なため吸引口の間隙が一定である場合は大きな粗雑汚染物は吸引口に掛止して吸引口を閉塞し、小さな細密な汚染物は間隙が大となると吸引不能となり濾過面に付着する汚染物の吸入排除が行われない結果となる。

本発明は、吸引筒8が回転して吸引作動中にハンドル15で回転軸11を適度に回転し連動クランク12を介して調節板10を進退せしめ濾過筒5の濾過面内側に接する吸入口金9の吸引口の間隙を時に広く、時に狭く調整することによつて大小粗密の汚染物を完全に吸入排除することが出来る。

以上のように、外部のハンドル15の回転により吸引口金9の吸引口の広狭を任意調整し得るため大小不均一な混入汚染物の完全吸引排除が容易であり、ために濾過効率を良好にしかつその操作は極めて簡単である等の特徴を有するものである。特許請求の範囲

1 本文に詳記する通り、内部に外周に適當の間隙を存せしめて濾過筒を設けた本体の中心を縦貫するよう縦挿し回転すべく取付けた吸引筒内に上端にハンドルを取付けた回転軸を縦挿しその内部下端にエキセンまたはカムにより動作する連動クランクを連結し、吸引筒の一侧に濾過筒の内面に沿つて開口する吸引口金を連通せしめて設けたその口金の一侧または両側に上下に進退して吸引口の間隙を調整すべく装着した調節板に連結杆をもつて進退作動すべく連結しハンドルの回転により吸入間隙を調節することを特徴とする不浄液濾過器。

第 1 図



第 2 図

